

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2012年3月号 (No. 39)

平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

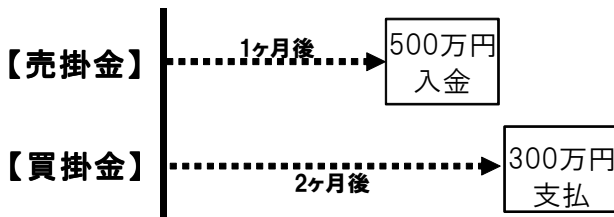
債権債務の相殺は有利？不利？サイトと資金繰りの関係

商品売買が盛んな問屋業や製造業では同じ取引先に売上と仕入を同時に行うことがよくあります。このさい債権と債務は相殺して決済するのが一般的ですが資金繰りはどんな影響があるでしょうか。サイト(取引から決済までの期間)に注目して、様々なケースを考えてみます。

◆入金サイトよりも支払サイトが長いケース

a. 別々に決済した場合

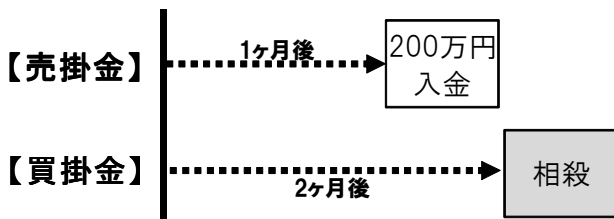
スタート時の預金残高が1000万円の会社が初月に同じ会社に売上500万円と仕入300万円を行ったとします。売掛金の入金が売上から1ヵ月後、買掛金の支払が仕入から2ヵ月後とすると、それぞれを別に決済した場合のおカネの流れと預金残高は以下になります。



	当月末	翌月末	翌々月末	平均
預金残高	1000万円	1500万円	1200万円	1233万円

b. 債権債務を相殺した場合

同じケースで債権債務を相殺した場合のおカネの流れと預金残高は以下になります。この場合、預金の平均残高は先程に比べ100万円少なくなります。売掛金のサイトよりも買掛金のサイトが長い(支払いが遅い)場合、債権債務を相殺すると買掛金を前倒して支払いするのと同じ効果があるため、資金繰りは先程より「悪く」なります。

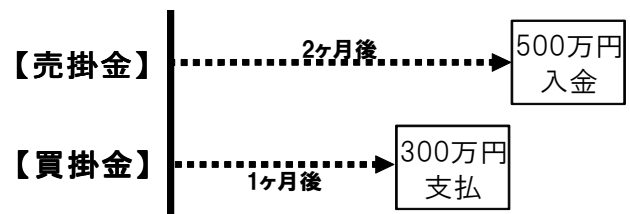


	当月末	翌月末	翌々月末	平均
預金残高	1000万円	1200万円	1200万円	1133万円

◆入金サイトよりも支払サイトが短いケース

a. 別々に決済した場合

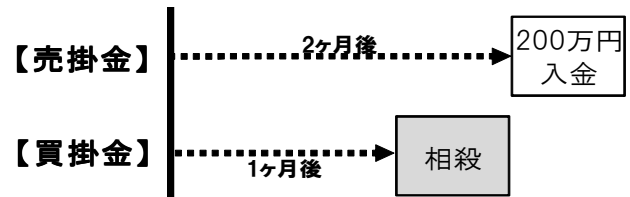
同じようにスタート時の預金残高が1000万円の会社が初月に同じ会社に売上500万円と仕入300万円を行ったとします。今度は、売掛金の入金が売上から2ヵ月後、買掛金の支払が仕入から1ヵ月後とすると、別々に決済した場合のおカネの流れと預金残高は以下になります。



	当月末	翌月末	翌々月末	平均
預金残高	1000万円	700万円	1200万円	967万円

b. 債権債務を相殺した場合

このケースで債権債務を相殺した場合のおカネの流れと預金残高は以下になります。この場合、預金の平均残高は先程に比べて100万円多くなります。買掛金のサイトより売掛金のサイトが長い(入金が遅い)場合、債権債務を相殺すると売掛金が前倒して入金されるのと同じ効果があるため、資金繰りは先程より「良く」なります。



	当月末	翌月末	翌々月末	平均
預金残高	1000万円	1000万円	1200万円	1067万円

◆債権債務の相殺はよく考えて

売掛金のサイトが買掛金のサイトよりも長い場合に債権債務を相殺すると資金繰りが良く、逆の場合は資金繰りが悪くなります。今後、検討する際にはご注意ください！

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/